

- 1 冬夕焼愛に見返り求むるな
- 2 夢を見ずねむるしあはせ龍の玉
- 3 霜の夜やたばこの中の煙草の葉
- 4 糸電話糸ひかりけり枯野の上
- 5 どの顔も明るく老けぬ焚火の前
- 6 催事場歳暮サンプルすべて空
- 7 鼻かんでティッシュ重しよ鼻水ぶん
- 8 撥水性炬燵布団やよだれも可
- 9 二色刷りヤミ金融のビラ冬日
- 10 爛酒のほふ寝台車の下段
- 11 革ジャケット革に毛穴や撫でみれば
- 12 ジッパールの金具つめたし顎の裏
- 13 白き息混じり合ふなり汝と吾と
- 14 マフラーを外せば息の湿りあり
- 15 制服にマフラー自由深紅を選ぶ
- 16 巻きくれしマフラーに汝が煙草の香
- 17 フラメンコダンサー静止靴音冴ゆ
- 18 ふぢつぼのあまたくぢらの目のまはり
- 19 牛鍋に麩の飴色や割れば白
- 20 厚揚げ載すおでんの卵浮かぬやう
- 21 大根をかつら剥きせりなくなるまで
- 22 皮近きほど色あはし焼芋割る
- 23 鯛焼の金型縦に五個並び
- 24 もちきんちやく角より餅の溶け出づる
- 25 缶蹴りの缶ぶりきいろ日脚伸ぶ
- 26 かまぼこのももいろの縁(ふち)日脚伸ぶ
- 27 初夢のわれ羊水に濡れにけり
- 28 鏡餅上下の間わづかに隙
- 29 鏡餅載せ三方(さんぼう)や厚紙製
- 30 部屋番号違ひの賀状届けに行く
- 31 バス停留所ベンチに並び門松も
- 32 春着着て家族写真や皆立てる
- 33 書初めの一面目なる墨だまり
- 34 獅子舞のうしろの脚やくたびれて
- 35 鉄火巻赤かがやける余寒かな
- 36 「効果には個人差」細字冴返る
- 37 泡ふたつ吐いて浅蜷や殻ひらく
- 38 掌に受けて女雛重しよ男雛より
- 39 誰も見ぬ男雛の背の帯の玉(ぎよく)
- 40 雛つつむ薄紙柔しさらに揉む
- 41 半身を押し入れ雛納む
- 42 造花もて囲む黒板卒業す
- 43 混声四部校歌うたひて卒業す
- 44 下萌や並びて豚の尻白き
- 45 春きやべつ遣る文鳥を手に乗せて
- 46 仔猫の眼閉ぢたり親に舐められて
- 47 口笛を吹くや揚雲雀に応へ
- 48 きりん舎をキリン出てきて桜かな
- 49 さくらはなびらうらおもてありふれみれば
- 50 汝が耳の静脈透くる桜かな

- 51 葉桜や家庭科室の円き椅子
52 子燕のあたま小さし口閉づれば
53 自転車屋開く燕の糞掃きて
54 柏餅パックより葉のはみ出せる
55 かしはもち葉を頭に載すや河童まね
56 土星の輪涼し双眼鏡の中
57 土竜死し指より乾ぶ新樹の下
58 血を載せてプレパレートや梅雨深き
59 野球盤いまも現役箱に黴
60 大阪や箱寿司に鯖隙間なく
61 蛸焼ぞ自分のぶんは自分で焼け
62 蜜豆のさいごの豆の塩味よ
63 ソフトクリーム最後舐むるはうはくちびる
64 半個売りメロンやラップ果汁に濡れ
65 プリンパフェプリン埋もれてバナナの陰
66 白桃サワーに桃の繊維や舌に触れ
67 ピザ石窯開け熱風とトマトの香
68 焼肉に添へ焼キヤベツ端炭化
69 茄子素揚げ略し麻婆カロリーオフ
70 赤紫蘇は束青紫蘇は袋売り
71 和風ハンバーグ青紫蘇載せただけ
72 駅員の夏シャツ格子白地に紺
73 足踏みポンプにビニールプール立ち上がる
74 板塀の隙より砂や海の家
75 五メートル助走や海へ飛び込むに
76 居残りの補習さんにん蠅一匹
77 ゴキブリホイホイ窓を覗けば脚見ゆる
78 ごきぶりのうらがへりけり死にたれば
79 扇風機羽根みづいろや半ば透け
80 マッサージチェアに密着汗の背
81 リュック外し背に汗染みやリュックの形(なり)
82 くちびるに触れ己が髪昼寝覚
83 炎昼や道にパチンコ玉ひとつ
84 片陰に顔はんぶんを入れ歩む
85 秋風や干して分厚き柔道着
86 林檎酒(シードル)の泡のおと聴く夜長かな
87 人体もアミノ酸なり星月夜
88 バケツ伏せ煉瓦の重し墓参果つ
89 林檎割り芯のまはりやうす青き
90 冷凍食品の夜食や容器が皿
91 戻したる干椎茸や絞れば鳴る
92 枝豆と殻入れ同じ皿二枚
93 紅茶より出して檸檬やうすくれなる
94 さみどりにぶだうの枝や食ひ終へて
95 銅鐸に緑青厚し草の花
96 跳箱に照る金の鋌天高し
97 二段組上部校註秋深し
98 眼球の冷えて目葉落つるを待つ
99 一輪挿しに薄活けたりすぐ傾ぐ
100 すすきひともと三つに折るや捨つるため